



いよいよ3学期が始まりました！

今日から3学期が始まりました。元気よく登校する子どもたちの姿に、今年1年も頑張っていこうという強い思いをもちました。

3学期は、6年生は50日、6年生以外の学年は51日しかありません。学年最後のまとめの学期をよりよいものにしていくためにも、職員が一丸となって子どもたちのためにできることを考え、取り組んでいきたいと思います。子どもたちが不安なく進級したり、進学したりするためには、学習内容の定着やよりよい人間関係の構築などが不可欠です。子どもたちが少しでも安心して次の学年を迎えられるように、ICTを活用したり、体力づくりや外遊びを推進したりしながら教育活動を進めていきたいと思います。今年も、潮見小学校の教育活動にご協力をお願いいたします。



3校子ども会議で決まったこと

昨年の12月27日（金）に鴨川中学校で3校子ども会議（冬の部）が行われました。鴨川中学校、久枝小学校、潮見小学校の代表が集まって各学校で共通する課題や地域との関わり方について話し合うのが3校子ども会議です。今回は大きく2つのことについて話し合いました。一つは、交通安全推進についての活動報告、もう一つは地域での防災活動についてです。

交通安全への取組は、3校子ども会議（夏の部）で決まったことで、各学校でポスターを作ったり、それを使って地域に啓発をしたりしました。鴨川中学校は、ポケットティッシュに交通安全のポスターのイラストを入れて配布しました。さすが中学生ですね。

防災については、昨年の11月の大雨で防災意識が高まったことから、話題に挙がりました。3校でできることはどんなことかを話し合い、左下の3つのことを決め



【子ども会議で決まったこと】

- 防災マップを作る。
- 交通安全で取り組んだことを生かす（全体への周知）。
- 避難訓練の内容と避難経路を確認する。

ました。

前回同様、公民館やまちづくり協議会の方にも参加していただきました。校区を越えた地域で協力



しながら交通安全や防災について取り組むことは大変有意義なことだと考えています。今後の子どもたちの自主的な活動に期待します。

【3学期の始業式で子どもたちに伝えたこと】

みなさん、明けましておめでとうございます。安全で、楽しい冬休みを過ごすことができましたか。

いよいよ、2025年、令和7年がスタートしました。2025年は、へび年ですが、本来の干支では、今年は乙・巳（きのと・み）と言います。「きのと・み」には、再生や変化をしながら柔軟に発展していくという意味があるそうです。



さて、みなさんは、潮見小学校の校訓を覚えていますか。「明るく・やさしく・たくましく」ですね。今日は、それぞれの校訓に合わせた具体的な言葉を考えていきましょう。

では、終わりに「気」が付く言葉を考えてみましょう。1年生には難しいかもしれませんが、人気とか天気とかありますね。終わりに「気」が付く言葉で、校訓の「明るく・やさしく・たくましく」に関係ありそうな言葉にはどんなものがあるでしょうか。

まず、はじめに校長先生が考えたのは「元気」です。心も体も健康でなければ、何事にも前向きに頑張ることができにくいですね。

次に、「和気」です。これは少し難しい言葉ですが「和気あいあい」という言葉で聞いたことがあるかもしれません。なごやかで、助け合い、励まし合い、支え合う様子を表す言葉です。思いやりの心を表します。

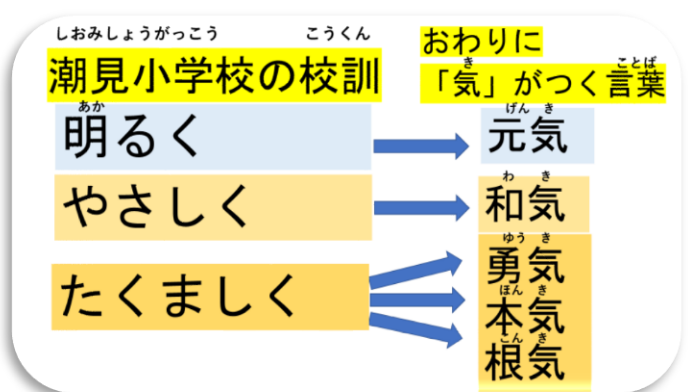
そして、「勇氣」です。新年になりましたから、何かにチャレンジしてみよう、一歩踏み出してみようと思っている人も多いはず。「やる気」と言い換えてもよいかもしれません。

さらに、「本気」です。一生懸命、真面目に取り組む姿勢が大事です。それがいつかは成果につながるはずです。

最後に「根気」です。ものごとを長く取り組み続ける気力も大事です。「継続は力なり」こつこつ続けていくことで、大切なことを身に付けてきましょう。

このように、校訓を「気」が付く言葉で考えてみると、右のように分けられるのではないかなと校長先生は思っています。

3学期や新年の目標を立てているはずですから、それを達成するためにも、元気で、和気あいあいと、勇氣をもって、本気で、根気よく頑張っていくきましょう。



3学期には、どの学年の皆さんも、次の学年の準備をするはずですが、特に5年生は、最高学年になる心構えをしておきましょう。そして6年生は卒業に向けて、潮見小学校のためにできることを考えて実行していきましょう。

それでは、2025年、令和7年がみなさんにとって、そして潮見小学校にとって、よい年になるように、みんなで力を合わせて頑張りましょう。

以上で、校長先生の話が終わります。